

石油に関する意見交換会を開催しました

中部支部 三重分科会との意見交換会

日時 ⇒ 2013年9月28日(土) 13:00~15:00 (意見交換会は、15:00~16:30)

会場 ⇒ アスト津 第3会議室

参加者 ⇒ NACS 中部支部三重分科会：男性8名 女性4名

石油連盟：1名、NACS 環境委員会：3名

三重県は四日市に大きな石油貯蔵・精製施設が設置してある地域であり、エネルギーに関する知識や関心は非常に高い方々の参加となった。

四日市ではガソリン価格が安い。その理由としては、精製施設の近隣では、輸送コストがかからないため、市場価格も安くなるとともに、ガソリンスタンドの設置件数が多い地域では、競合して価格が安くなる傾向にあることが、橋爪氏より説明された。

参加者より、車の使用率が80%の為ガソリンの使用率も高いが、冬場のストーブで使う灯油の利用率も高いということで、灯油の廃棄期限や廃棄方法などについて質問があった。

また、石油を精製してガソリンや重油などを製造工程の説明の際、橋爪氏より、精製資源をミニチュアボトルに入れた見本を参加者にも回覧して、視覚的に確認できる意見交換会となった。

